

新水道ビジョンワークショップ・シンポジウムについて

新水道ビジョン策定検討会の追加調査として、ワークショップ及びシンポジウムを以下のとおり開催する。

1) ワークショップ・シンポジウムの概要

- キャッチ 「これからの日本の水道と住民の関わり方」
- 目的 →新水道ビジョンの骨子案をもとにして、
 - ・水道に深く関係しない一般の方から意見を聞く。
 - ・住民との連携手法や情報提供のあり方を探る。
 - ・水道に対する直近のニーズ、求める将来像を議論する。

2) ワークショップ開催要領（案）

- 開催日時 12月22日（土） 13:00～16:00
- 場所 都内会議室（調整中）
- 時間 次頁スケジュール（案）の通り、3時間程度。
- 形式 グループディスカッション＋総合討論

3) シンポジウム開催要領（案）

- 開催日時 平成25年2～3月の平日（予定）
- 場所 （都内、開催日決定後に手配）
- 時間 2時間程度を予定
- 形式 パネル討論会（パネラー5名程度）

4) ワークショップの内容(案)

(1) プログラム(案)

13:00~13:15	水道をとりまく環境と新水道ビジョン(厚労省水道課)
➤	人口減少、経年施設の増加、水道関係者の減少といったこれからの水道をとりまく環境について問題提起
➤	これらの問題に対する「新水道ビジョン(骨子)」を提示
13:15~13:30	自己紹介、ワークショップの手順等説明
13:15~15:10(約2時間(休憩含))	ワークショップ形式でのグループ内討議
15:20~15:50	グループ発表、総合討論
15:50~16:00	その他意見交換

(2) 参加者、グループ編成

- ワークショップは2グループ
- グループ内のメンバー構成(想定 住民10名以内)は以下のとおり。
 - ・住民 10名以内
(水道モニターなどを通じて(可能な範囲で)、全国から民間人を参集)
 - ・水道の専門家 1名
 - ・水道行政の方 1名
 - ・ファシリテーター 1名(日水コンで対応)
- 基本的には住民中心での討議。水道の専門家と水道行政の方は、討議を充実させるためのヘルプ的な役割(基本的に自らが主体になって意見は述べない)。

(3) ワークショップの手順(約2時間)

13:15~13:30	自己紹介、ワークショップの手順等説明(ファシリテーター)
13:30~13:45	参加者各自が付箋紙に意見を書き出し (約15分間)
13:45~14:10	参加者各自が意見の読み上げ、意見追加 (約25分間)
14:10~14:20	(休憩10分)
14:20~15:00	意見の構造化、グループ内意見交換 (約40分間)
15:00~15:10	グループ内での意見とりまとめ、発表者選出

(4) その他

- 業界紙への取材依頼